



小澤 實選

イタリア国旗花水

埼玉県 小町 季生

【評】猛暑の日のランチ、イタリア料理の店の門前には、イタリア国旗が掲げられ、草花を閉じ込めた氷柱が立てられている。国旗の緑・白・赤もなんだか涼しげに感じられる。父の日や胡椒多めのラムチョップ

流山市 高橋 郁代

【評】こちらはレストランではなく、家庭料理か。「ラムチョップ」も「胡椒多め」も父の好みを細かなところまで知っている選択。

爪切りでサイズ合わせや登山靴

さいたま市 新原 健

【評】足に合わせて靴は選ぶものであるが、登山靴のサイズは細かく切られていないのか。爪を切って合わせるころにおかしみがこもる。

干からびた「ん」の字の蚯蚓降車口

京都市 根来 滋

名山に名水ありぬ苔の花

柏市 藤嶋 務

梅雨寒や足元に猫引き寄する

姫路市 志 築

歯科で遇ひ眼科でも遇ひ釣堀でも

栃木県 あらあひとし

夫の素麺作りて妻は透析へ

堺市 白石 和子

古書店の女主人やあっぱっぱ

東大阪市 渡辺美智子

音もなく百足走れる畳かな

町田市 枝沢 聖文



津川絵理子 選

吾子とめる砂場の鬱や夾竹桃

横浜市 延沢 好子

【評】子は可愛い、ずっと一緒にいると疲れてくる。しかも真夏の砂遊び。親は鬱々とする。子育ての一面をストレートに表現した。夾竹桃の猛々しさが際立つ。

紫陽花を剪る大いなる穴をあけ

東京都 望月 清彦

【評】紫陽花を生けようと一本剪る。花が大きいから、そのあとにぽっかりと穴があく。穴に注目して詠んだところがユニークだ。

夏空へぴしと洗濯ばさみ打つ

上越市 渡辺 みほ

【評】晴れ渡った空。洗濯にもってこいの日だ。「ぴしと」「打つ」に厳しさがあって、小さな洗濯ばさみでもって夏空に対抗するかのよう。蘊蓄をさらりと繋し冷奴

蘊蓄をさらりと繋し冷奴

東京都 川瀬 佳穂

白鷺の田ごとの一羽ごとの黙

豊田市 藤本 恭子

梅雨深し爪研ぎて又窓の猫

佐野市 村野 則高

恋多き古希のマドンナ花ざくら

川越市 石田浩二郎

落し文あぎとふ鯉に食はれけり

東京都 朝田 黒冬

なめくじり俺の涙に溶けにけり

松江市 三方 元

夕風の子童寄りくる気配かな

横浜市 宮川 ゆず

〇〇より団子？

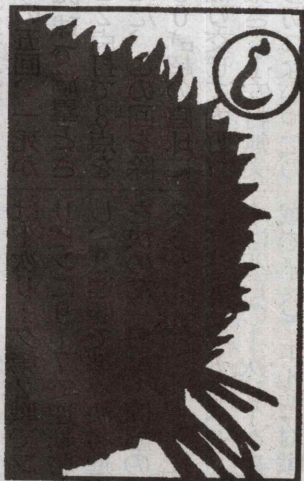
子供向けの俳句教室で「夏の季語当てクイズおやつ編」をやる事になった。身近な季語に気付くのが主旨だ。アイスクリームやかき氷はいかにも夏らしい。飴やチョコを季語と思う子はいらぬだろうか。それらしく見えないが実は季語を探している時に「みたらし団子だー」と思い至った。

下鴨神社の夏の土用に行われる御手洗祭(今年は七月十八、三十日)のお供えが由来だ、という説があるれっきとした夏の季語。イケる！これが季語なの？と皆ひっかかるぞ、とひとりほくそ笑んだのだが……。

「御手洗祭の」と由来を聞かされても、子供たちはぼかーんとなる可能性大。実感ないもんなあ。うーん、名案だと思ったのだけ……。没！

この季語は例句がほぼない。へ杜に風抜けてみたらし団子かなはつき。花より団子ならぬ、神社より団子。季節感ないけど面白いから許してもらおう。

俳句あれこれ なつはづき (俳人)



題字デザイン・イラスト

福田美蘭